

協会の開催案内

マンスリーセミナー

391	12/15 (火)	光ネットワークに適用される SDN技術の動向	株式会社 KDDI研究所 光トランスポートネットワークグループ 吉兼 昇 氏
(内容)近年、仮想化環境においてネットワーク資源の設定をソフトウェアにより集中制御する Software-Defined Networking (SDN) の研究開発が進められている。SDNを導入することで、ネットワークの詳細な構成を意識せずに任意のトラフィックを柔軟に制御できることから、ネットワークサービス提供時間の短縮化やネットワーク運用コストの削減、また、アプリケーションとネットワークを連携させた新規サービスの創出等が期待されている。 本稿では、トランスポートネットワークの中でも光ネットワークに適用される SDN を中心に、技術の概要、研究開発動向および標準化動向について紹介する。			
392	1/19 (火)	Si基板上ハイブリッドレーザに向けた 異種基板接合技術	東京工業大学 大学院理工学研究科 電気電子工学専攻 准教授 西山伸彦 氏
(内容)データセンターやスーパーコンピュータの大規模化に対応する将来の光インターフェクション用光集積回路プラットフォームとしてシリコンフォトニクスが期待されているが、シリコンは材料的に効率的に発光することができない。その解決のため、高効率な発光材料であるIII-V族半導体をシリコンプラットフォームに導入する試みが行われており、それを実現する異種基板接合技術と、その技術を利用した光デバイス特性と将来の展望について概説する。			
393	2/16 (火)	人工光合成：二酸化炭素の太陽光を用いた 資源化の重要性と現状	東京工業大学 大学院理工学研究科 化学専攻 教授 石谷 治 氏
(内容)エネルギー資源の不足、地球温暖化そして炭素資源の枯渇の問題は、人類の将来に暗い影を落としている。もし、CO ₂ を太陽光エネルギーのリザーバーとして用い、炭素資源となる生成物を効率よく与える人工的なシステム(人工光合成)を構築できるならば、これら深刻な問題を一挙に解決できる可能性がある。本講演では、まず CO ₂ 光還元触媒に必用とされる条件を説明する。その後、我々の研究成果として、以下の内容を報告する。 (1)高効率 CO ₂ 還元金属錯体光触媒の開発 (2)超分子光触媒の高機能化 (3)金属錯体-半導体複合光触媒の開発			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧下さい。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）
東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階
時 間：午後3時30分～5時30分
定 員：60名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 潮田（うしおだ）
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp